



## 修学旅行での6年生の立派な態度

先週の4日(木)、5日(金)は6年生の修学旅行でした。当初は6月下旬に予定していました。3月末に保護者説明会を行い、ワクチン接種が行き渡る秋の方が感染状況が落ち着いている可能性が高いと思われるために、秋に延期することになりました。そのときには東京オリンピックで実施された場合、秋に感染が拡大していることも考えられましたし、11月に実施できなかった場合、12月以降に実施できるのかということもあって、随分迷った決断でした。関西地方に行くことはできませんでしたが、感染が落ち着いた状況で実施できたことは、本当にありがたいことでした。

今年度の修学旅行のコースは次のようでした。

1日目 学校→美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」→千鳥苑→レインボーライン・山頂公園→県年縞博物館・若狭三方縄文博物館

2日目 若狭工房(若狭おばま食文化館)→小浜湾内めぐり(若狭フィッシャーマンズワーク)→瀧雅→ツリーピクニックアドベンチャーいけだ→学校

2日目の朝だけが雨になってしまいましたが、山頂公園とツリーピクニックは好天に恵まれ十分に楽しむことができました。

2日間の修学旅行を通してご家庭の皆様にご紹介したいのは、見学地での6年生の立派な態度です。「きいばす」に行ったときからそのことを職員の方にほめていただきました。あいさつだけでなく、問いかけに答えたり、質問したりする内容や態度も本当にとってもよかったです。年縞、縄文博物館や旅館でもそれは同じでした。

自分たちが楽しみにしてきた修学旅行をよいものにしたいという思いがひしひしと伝わってきました。その甲斐あって、途中、けがや病気になることもなく旅行を終えることができました。

旅行での体験は、今月末の学習発表会で発表してくれるようです。これからも兵庫小学校のリーダーとして活躍してくれることと思います。

**裏面に続きます**



若狭三方縄文博物館 竪穴式住居前で



# 育つん田の収穫米を贈呈



8日(月)に5年生の代表児童が、育つん田で収穫した「いちほまれ」の一部を、坂井ケアセンターと豊楽園に贈呈しました。コロナ前までは4年生が総合的な学習の一環で両施設を訪問し、お年寄りとの交流を行って、お米も贈呈していました。ウイズコロナの中では交流はできないので、米作りの中心となっていた5年生が、お米の贈呈だけ行いました。

奈良・興福寺への献米は、今年度も児童は参加できませんでした。

## 十人十色なカエルの子

10日(水)の全校集会で、校長から『十人十色なカエルの子』という絵本を紹介しました。学校では11月に読書週間の取り組みや人権教室を行うので、それに関連してこの本を紹介しました。

この絵本の中にはいろいろなカエルの子が出てきます。自分の体を思うように動かすことが苦手な子ガエル、



あちこちから聞こえてくる音を聞き分けるのが苦手な子ガエル、葉っぱの色に合わせて体の色を変えられないことに気づいていない子ガエル、一つのこと熱中すぎて天敵に狙われている子ガエル、周りの子ガエルのしているこ

とを勘違いしてしまう子ガエル、相手に構わず機関銃のようにしゃべり続けてしまう子ガエル等です。



でも考えてみるとおたまじゃくしのころから群れから外れて泳ぐ子や水草にとこでじっとしているのが好きな子など、いろいろな子がいたのです。カエルになってからもいきなりいろいろなことができるわけ

はありません。虫をとることも、ジャンプすることも大きな声で鳴くことも、だんだん上手になっていくわけです。

前半部分にあったようにその子その子でいろいろな特性があるわけですから、上手になっていく方法もスピードもちがっていいわけです。

ひとりひとり  
顔がちがっているように、

ひとりに一つずつ  
自分だけのやり方がある。

きみにはきみの  
すばらしさがある。

絵本は最後に左のように結んでいます。

この絵本ではいろいろな特性のある子ガエルがどうすると困らずにすむのかという方法についても触れているのですが、とても長くなるのでその部分は割愛して紹介しました。

今まで「努力の壺」のお話で、目標(なりたい自分の姿)に向かって努力を積み重ねていくことの大切さを話してきました。今回は、絵本の紹介の後に、自分に合ったやり方で努力するという話もしました。

## 来週末タブレットを持ち帰ります

来週末の19日(金)に第2回目のタブレット端末の持ち帰りを行います。今回の持ち帰りは坂井中学校区の小学校が一斉に行うものです。ただし持ち帰り日は18日の学校もあります。兵庫小での今回のねらいは前回使えなかったデジタルドリルによる学習を行うことです。学年によってはそれ以外の課題もあります。なお、学校に持って来る日は22日(月)です。